2022.2.25

ワイヤーレース・ジュエリー認定講座テクニック BOOK

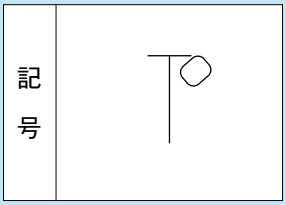
カリキュラム改訂にともなう記載内容の変更と追加のお知らせ

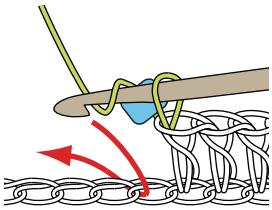
P15

編み目記号と編み方

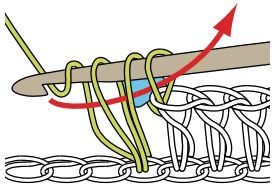
13 ビーズを入れた中長編み 変更 ⇒ 最後にビーズを入れた中長編み

追加 最初にビーズを入れた中長編み

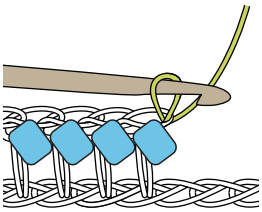




①ビーズを寄せてから針に糸をかけ、編み目に針を入れます。



②糸をかけて引き出します。もう一度糸をかけて 3 本一緒に引き抜きます。



③ビーズは裏側の編み目と編み目の間に入ります。

※裏目側から見た状態

P20

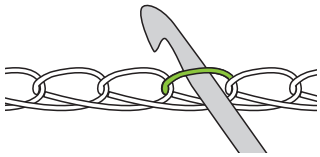
作り目と作り目からの編み方

2. 鎖編みの作り目の拾い方 追加・変更

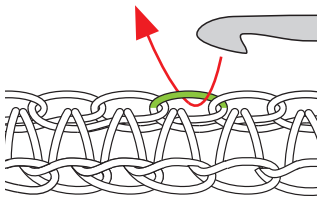
A. 鎖編みの上側半目または外側半目を拾う

下側に 1 本残った半目を拾う場合もこれに含まれます。

記号

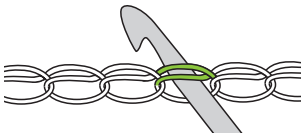


※表目側から拾う場合



B. 鎖編みの半目と裏山を拾う

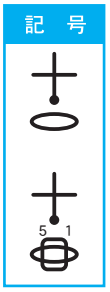
記号

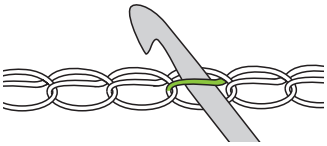


※裏目側から拾う場合

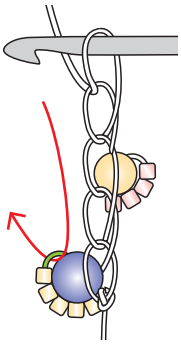
C. 鎖編みの裏山を拾う

記号



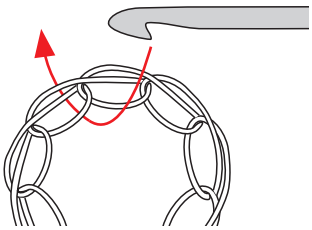


※裏目側から拾う場合



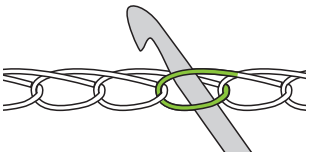
D. 鎖編みのすべてを拾う（束）

記号



E. 鎖編みの上側半目と下側半目 2 本を拾う

記号

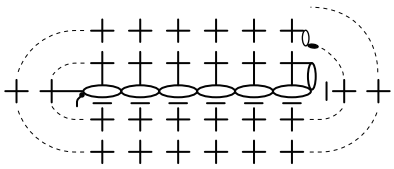


※表目側から拾う場合

P21

5. 袋編み 変更

鎖編みの作り目の拾い方の表記を追加・変更したことにより、袋編みの記号図も下記のように変更となります。



P23

編み方向と編み方

1. 編み方向 B. 往復に編む 追加

2. 編み方 A. 往復編み 追加

往復編みで編み地を裏返す際、毛糸などの編み物では反時計回りに回しますが、ワイヤーレース・ジュエリーでは目を拾いやすく編み目がねじれないようにするために、時計回りに統一します。
このため、上記２項目の解説文に下記を追加してください。

「編み地を裏返す際は、目を拾いやすく編み目がねじれないようにするため、時計回りに回します。」

ルトゥールクロッシェ 追加

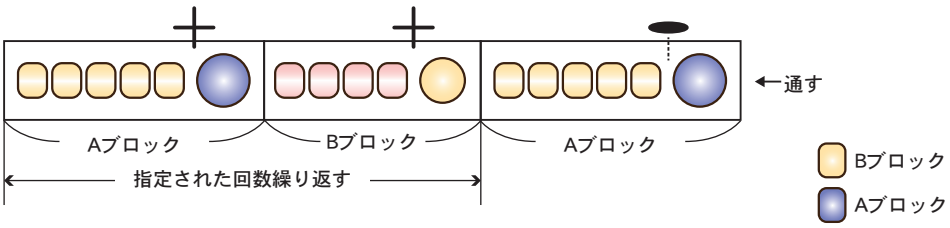
1. ルトゥールクロッシェとは

毎段編み地を回しながら往復編みで、ループクロッシェ（複数のビーズを入れて編む鎖編みのこと）と前段のビーズを入れた編み目の指定の位置に針を入れて編むことを繰り返す技法です。立ち上がりの鎖編みを編み、ループクロッシェと次に編む編み目の間に鎖編みを入れるとブロックが左右に並び、ブレード状になります。ブロックの間に編む編み目は細編みが基本ですが、さまざまなアレンジが可能です。

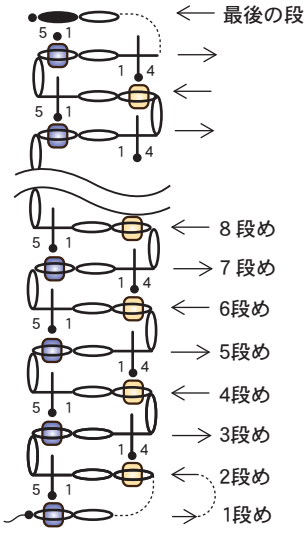
2. ビーズの通し方と記号図

ビーズの通し方図の細編みの記号の位置に針を入れて細編みを編みます。編み方が変わる場合は、通し方図の編み目記号も変わります。
前段のブロックに針を入れたときに左右にビーズがいくつずつ並ぶかを記号図の細編みの足に数字で表しています。
また、往復編みなので、記号図の右側の矢印で編み方向を示しています。ただし、１段めと２段めは表裏を変えないので、矢印の向きは互い違いになっていますが点線でつないでいます。

【ビーズの通し方図】



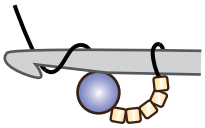
【記号図】



3. 基本の編み方【細編みのルトゥールクロッシェ】

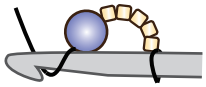
A. ループクロッシェ (複数のビーズを入れて編む鎖編み) の編み方と種類

【左側にビーズを寄せる場合】

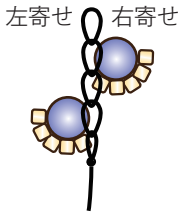


ビーズを左側に編みたいときは、針の下側にビーズを寄せる

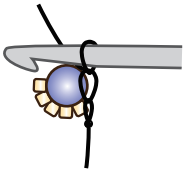
【右側にビーズを寄せる場合】



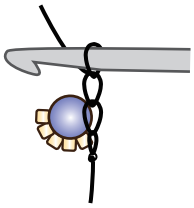
ビーズを右側に編みたいときは、針の上側にビーズを寄せる



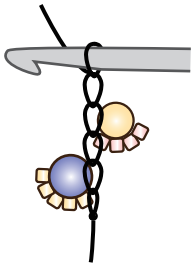
B. 基本の編み方



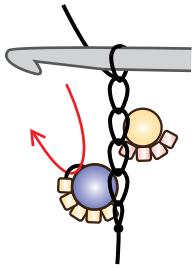
①最初の目を作り、左側にビーズを寄せてビーズを入れた鎖編みを１目編みます。



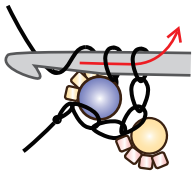
②続けて鎖編みを１目編みます。これが１段めになります。



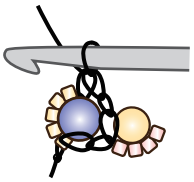
③右側にビーズを寄せてビーズを入れた鎖編みを１目、鎖編みを１目編みます。



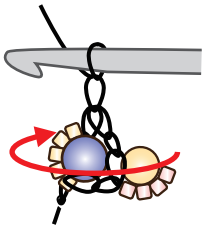
④１段めのビーズを入れた鎖編みの指定の位置に針を入れます。



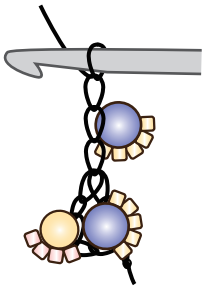
⑤ワイヤーをかけて引き出し、もう一度ワイヤーをかけて引き抜きます。（細編み）



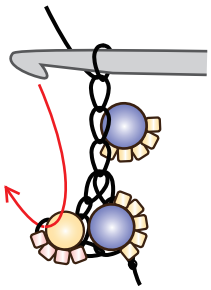
⑥これが２段めになります。



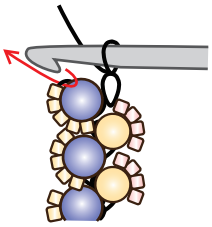
⑦立ち上がりの鎖編みを１目編み、編み地を時計回りに回します。



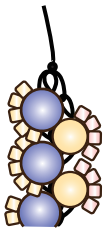
⑧３段めは右側にビーズを寄せてビーズを入れた鎖編みを１目、間の鎖編みを１目編みます。



⑨２段めの指定の位置に針を入れ、ワイヤーをかけて引き出し⑤と同様にして細編みを編みます。以降は⑦～⑨を繰り返して必要段数を編みます。



⑩最後の段は、編み地を時計回りに回し、鎖編みを１目編み、前段の指定の位置に針を入れて引き抜き編みを編みます。
※細編みで編み終わる場合もあります。



⑪編み終わりは、指定された長さのワイヤーの端を残して最後の目を止めます。